

令和6年度 第2回古賀市運賃協議分科会 会議録

○日時：令和6年10月28日（月）15時45分～16時00分

○場所：古賀市役所第2庁舎5階 501会議室

○委員の出席状況

出席者

【会長】公募市民		久池井 良人
株式会社古賀タクシー	代表取締役	後藤 正典
九州運輸局福岡運輸支局	支局長	古賀 秀策 (代理)
古賀市職員	経営戦略課長	星野 孝一

○事務局：古賀市経営戦略課 横山係長、他2名

○傍聴者：0名

○配布資料：コガバス（小竹線）の路線延長に伴う運賃改定について

○会議概要

1. 開会

事務局	資料の確認
会長	開会のあいさつ

2. コガバス（小竹線）の路線延長に伴う運賃改定について

事務局	資料について説明
会長	新宮町と協議済みであり、それを踏まえたうえでの料金提案であるが質問はあるか。
委員	新宮町のマリックスの運賃はいくらか。
事務局	現在100円で運行しており、上げるべきではないかといった話もあると聞いている。
委員	乗り物に対する料金とのことであるが、例えばタクシーでは小竹から新宮中央駅まで1500円程度かかる。通常路線バスを走らせたときにどれぐらいの程度かかるものなのか考えたときに350円～400円ぐらいかかると思う。運賃は段階的に考えると、電車、バス、タクシーの順に高くなると思う。そういった内容で考えた際にどのあたりに運賃設定をするのか考える必要があると思う。住民のために100円、150円といった設定をするのではなく、将来的にこの事業

	<p>が採算をとるのが難しくてもそれに近づくためにはどれぐらいの運賃設定にすべきか考えた時に新宮が100円を200円に上げたいと言っているようにコガバスを300円にすれば新宮も300円にしようかという流れができるのではないかと思います。利用者の考え方ではないが事業者の考え方としてあると思う。最終的には利益というより事業としての成り立ちが整えられる形にもっていくことが最大限必要である。今でこそタクシー会社がジャンボタクシーを使ってバスのような真似をしている状況であることから、必要な経費をいただけるのであればジャンボタクシーをバスの仕様に変えていくなり設備投資も含めて考えていかなければならない。小竹線に関してはJR古賀線の運行時間から前が2時間半、後ろが1時間半時間を延長されて運転手の働く時間が増える。厚生労働省からは働く時間を短くすることを言われている。次の勤務までも最低9時間取ること、できれば11時間取るように言われている。働く時間が短くなったから給料が少なくていいとはならない。そのため、人件費コストは年々上昇している。このコスト上昇に向けて全てが動いていかなければ、政府が求める時給1500円は達成できない。こういったことも踏まえた上で運賃を考えていきたい。現在200円という案は出ているが、今話した面を含めて200円が300円になって、利用者にとってみたら乗り心地が良くなったとか気持ちよくなったとか時間の都合がつくようになったとかの感想から利用者が増えていくといった何かしらの方向づけを持ったうえで現在200円なら良いと思う。</p>
会長	<p>将来の展望ということであった。現状は案の200円で良いとしてもということなのか。</p>
委員	<p>地元にも新宮町にもおおむね3年は一度してみようと伝えている。改善は毎年行うが、だめであれば路線の見直しやコミバス以外の方法としての一とへの切り替えなど検討していくと思う。採算性ということになると委託料はもちろんお支払いはする。車両の改良は確かに乗り心地で乗る人が増える可能性もあるので考えていきたい。収支率は運賃協議会で考えないといけないのか。</p>
委員	<p>運賃協議会はあくまで運賃の設定について話す場である。</p>
会長	<p>採算といった深いところまでではなく、運賃としてどうかを協議する場ということである。</p>
委員	<p>西鉄バスの初乗り運賃とほぼ同程度で200円設定をしている。今回特化したいのは学生である。現状暗い道を通学しているのでそれを改善したい。</p>
委員	<p>政策的にそういった考えはあっていいと思うが、通常の運賃としては適正な金額はいくらなのかを頭に描きながら進めていきたい。</p>
会長	<p>先々のことを考えてということである。JR古賀線とかけ離れるわけにもいかないため、全体を見て考えないといけない。</p>
委員	<p>学生に対する割引は学生証を提示すると書いてある。例えば新宮町は学校が割引券を直接買って通学する学生に渡している。久山町は役場に届出をすることで発行された許可証を見せるといった取り組みがある。古賀市も市役所で手続きすれば割引になるという形の方がいいのではないかと。</p>

委員	手間を考えると古賀市で定期券を購入できれば良いと思う。これはどこかで導入したい。
委員	例えば広報誌等で取り組みを案内するとコマーシャルになると思う。
会長	近隣の自治体と情報交換する場はあるのか。
委員	ある。
会長	住民同士で情報交換するということは分かった上で考え方をしっかりする必要がある。
事務局	学生がどれだけ乗れるか。定期券も一案ではあるが、9人乗りであるがゆえに乗れない人もいると思う。
委員	定期券にすると予約の段取りが必要になるといった形に繋がっていくと思う。
事務局	運行開始してみてもまずは学生証の提示で乗っていただいてどれだけ多いのかの様子を見たい。コガバス JR 古賀線と料金が違うところも動向を見ながら注視していく必要があると思っている。
会長	利用者からすると利便性が一番高いのはタクシーである。その次に利便性が高いのは路線バス、定時で来て何人でも乗ることができる。一番信頼性が高いため、西鉄バスの料金が少し高いのは納得されると思う。コガバスは乗れるかが不安であり、もし次のバスとなった場合が困る。乗れない方向けにタクシーを配車するとしても何分に来るか分からないとなると心配である。オンデマンドバスは予約が毎回面倒であるが、オリジナルに合わせて乗れることを踏まえて300円で納得する。それぞれの側面に合わせて折り合いができることを考えると比較的コガバスは乗りやすい形の料金設定が必要と利用者側からは思う。ただ近隣の自治体や同じコガバスでも料金が異なることは整理が必要である。
委員	新宮町民でも学生証の提示があれば100円で良いのか。
事務局	そのとおりである。
委員	中学生は100パーセント学生であるが学生証の提示が必要なのか。書きぶりを中学生以下100円でもいいのではないのか。他との兼ね合いでこういった表記にしているのか。
会長	普通のバスは子どもに対して証明書とは言わない。
委員	ただ子どもの定義は普通小学生までである。書きぶりはお任せしては良いとは思っている。
事務局	JR 古賀線のコガバスが中学生以上150円と表記しているため、それとの整合性を図った表記とした。
委員	現在コスモス館で乗り換えして新宮中央駅と古賀駅を繋ぐ形であるが、コスモス館で乗り換えをするのではなく最終的に直通で走るのはどうか。この区間だといくらといった細かな料金設定も必要になると思う。
会長	直通ができないのであれば福津市のように1回乗換券をあげて、一回は無料にするのもいいと思う。乗り換えたらまた初乗り運賃が必要になってしまう。
委員	そういったサービスも考えていきたい。
会長	一度にいくつも実施することはできないと思うので、今後段階的に考えていく

	場合は複数のアイデアが必要だと思う。
委員	利用者が低迷する場合なども考えられる。
会長	小竹からコスモス館は利用者が少ないとは思っていた。本命である新宮中央駅まで繋がらないと意味がないということだろう。
会長	多数意見が出ましたが、他に質問がなければ議決に入りたい。
会長	挙手 3 名 (九州運輸支局は賛否表明できない)。全員賛成で議決については可決とする。